

当院における高度肥満症例（BMI>35）の臨床病理学的特徴

1. 研究の対象

当院で2021年4月から2022年3月までの期間で初診時にBMI35以上であった方

2. 研究目的・方法

近年、当院では高度肥満症例が増加傾向にある。肥満はがん種によっては発症率に直接影響すると同時に手術や抗がん剤・放射線による治療経過に大きく影響を及ぼす。そこで当院における高度肥満症例（BMI>35）を男女別に調査し、カルテで後方視的にその臨床学的特徴を比較・検討する。

研究実施期間：3か月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：採血結果、年齢、身長、体重、BMI、原疾患、診療科、治療内容、併存症、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

栃木県立がんセンター 統括技術部 検査技術科 諏訪智美

研究代表者：

栃木県立がんセンター 統括技術部 検査技術科 諏訪智美